

(別紙)

令和7年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

9番議員 佐々木 昇

ふるさと納税の現状と今後の方策を問う

ふるさと納税は、平成20年度税制改正により導入された制度であり、本町では平成28年度から本格的に導入した。その間、堅実に行なってきた取り組みは着実に成果を上げてきたが、令和2年度に3億7,000万円ほどの寄附があったのを境にその後は年々減少傾向にあり、令和5年度決算では、2億1,000万円ほどとなっている。

そのような中、町長は積極的にふるさと納税の活用に取り組んでいると感じている。これまで私もこの制度を本町でも積極的に活用するべきと考え、制度導入の提案から始まり、度々、ふるさと納税に関係する質問を行なってきた。

現在、様々な要因で寄附額は減少傾向にあるが、町長の積極的な取り組みに期待し、再度、ふるさと納税の取り組みについて以下の項目を問う。

- ① 現状の課題と今後の方策は。
- ② 体験型ふるさと納税への考えは。
- ③ ガバメントクラウドファンディングへの考えは。
- ④ 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）への考えは。